

「安全なまちづくり」についてのアンケート結果

犯罪に遭うことなく、安全に安心して暮らすことができる社会の実現を目指し、県民の皆さんや関係機関等と連携して安全なまちづくりに関する施策に取り組んでいますが、防犯活動について、県民の皆さんがどういった意識を持っておられるかをお聞きし、今後の施策推進に役立てることを目的として、アンケート調査を実施しました。

★調査時期 : 令和元年11月

★対象者 : 県政モニター399人

★回答数 : 346人(回収率86.7%)

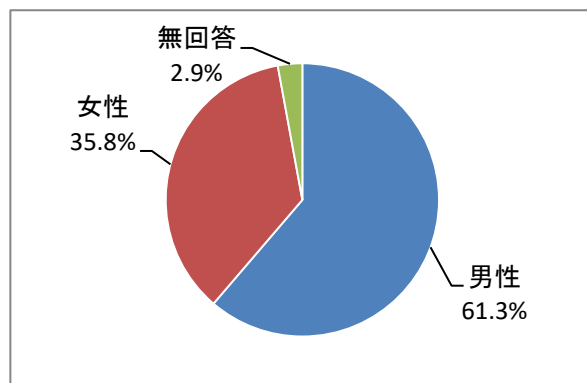
★担当課 : 総合企画部 県民活動生活課

(※四捨五入により割合の合計が100.0%にならない場合があります。)

【属性】

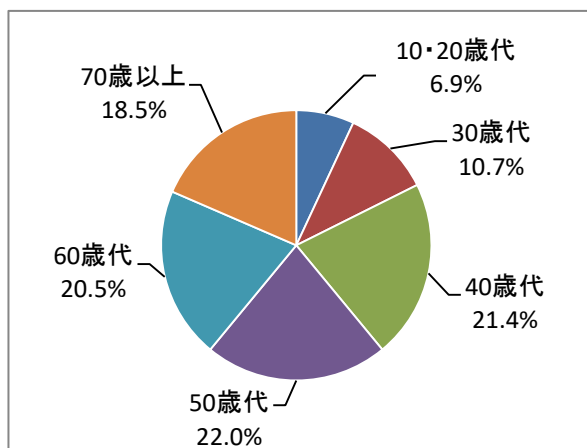
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	212	61.3
女性	124	35.8
無回答	10	2.9
合計	346	100.0



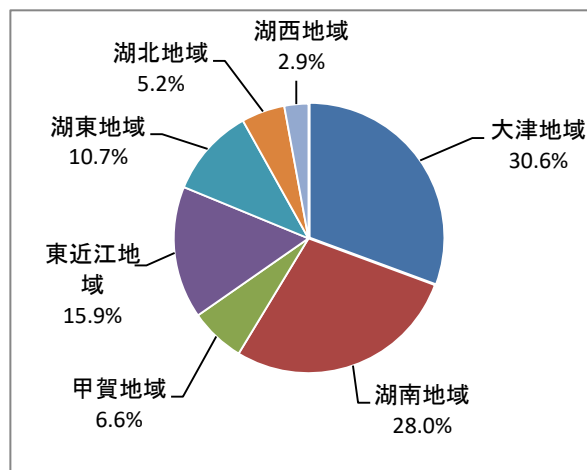
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	24	6.9
30歳代	37	10.7
40歳代	74	21.4
50歳代	76	22.0
60歳代	71	20.5
70歳以上	64	18.5
合計	346	100.0



◆地域

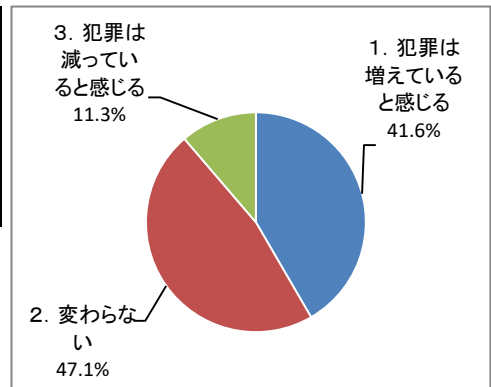
項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	106	30.6
湖南地域	97	28.0
甲賀地域	23	6.6
東近江地域	55	15.9
湖東地域	37	10.7
湖北地域	18	5.2
湖西地域	10	2.9
合計	346	100.0



問1. 昨年(平成30年)1年間の滋賀県内における犯罪発生状況について、どう感じますか。

(回答チェックは1つだけ n=346)

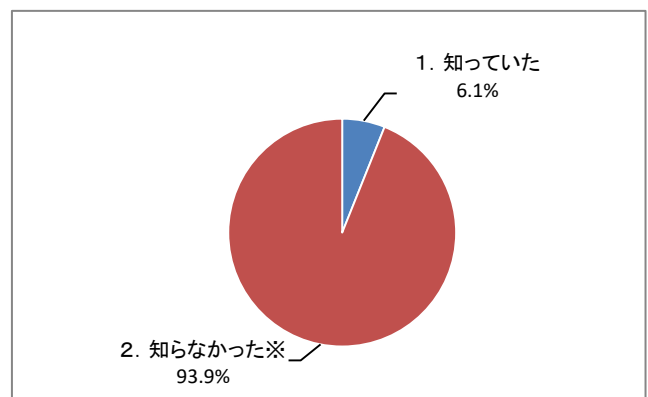
項目	人数(人)	割合(%)
1. 犯罪は増えていると感じる	144	41.6
2. 変わらない	163	47.1
3. 犯罪は減っていると感じる	39	11.3
合計	346	100.0



問2. 昨年(平成30年)1年間で、滋賀県内でおおよそ何件犯罪が発生しているか知っていましたか。

(回答チェックは1つだけ n=346)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っていた	21	6.1
2. 知らなかった※	325	93.9
合計	346	100.0



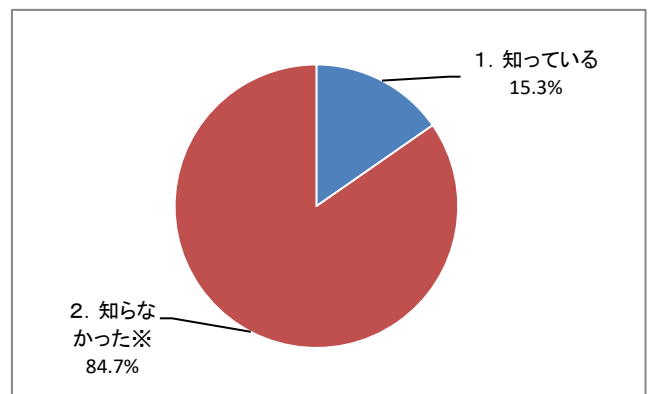
※「知らなかった」には「このアンケートで初めて知った」を含む

問3. 「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議*(会長:滋賀県知事)において、毎年、年間の犯罪抑止目標を設定していることを知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=346)

[令和元年の犯罪抑止目標: 刑法犯認知件数7,000件以下、住宅侵入盗被害100件以下、特殊詐欺被害100件以下]

*「なくそう犯罪」滋賀安全なまちづくり実践県民会議とは、県・市町・県民・事業者等の92の機関・団体が構成されており、県民等が犯罪に遭うことなく、安全に安心して生き生きと暮らすことができる社会を実現するための取組を実践しています。

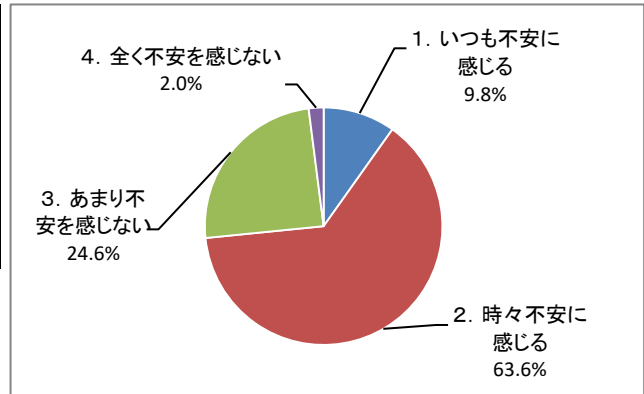
項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	53	15.3
2. 知らなかった※	293	84.7
合計	346	100.0



※「知らなかった」には「このアンケートで初めて知った」を含む

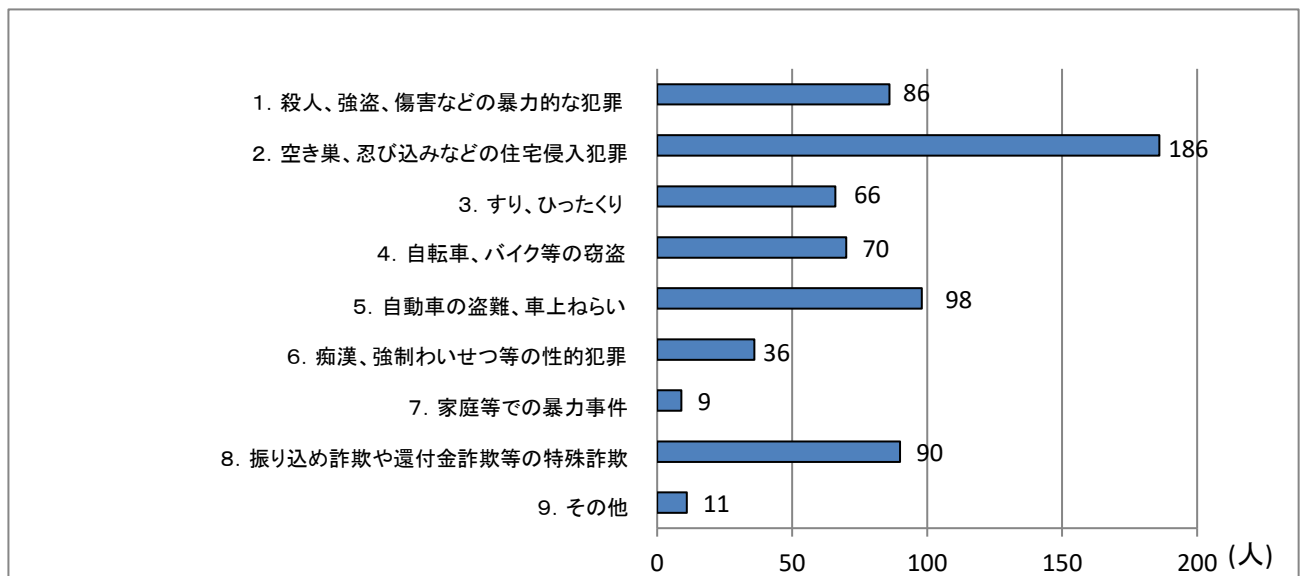
問4. あなたは日常生活において、何らかの犯罪の被害に遭うのではないかと不安を感じますか。
 (回答チェックは1つだけ n=346)

項目	人数(人)	割合(%)
1. いつも不安を感じる	34	9.8
2. 時々不安を感じる	220	63.6
3. あまり不安を感じない	85	24.6
4. 全く不安を感じない	7	2.0
合計	346	100.0



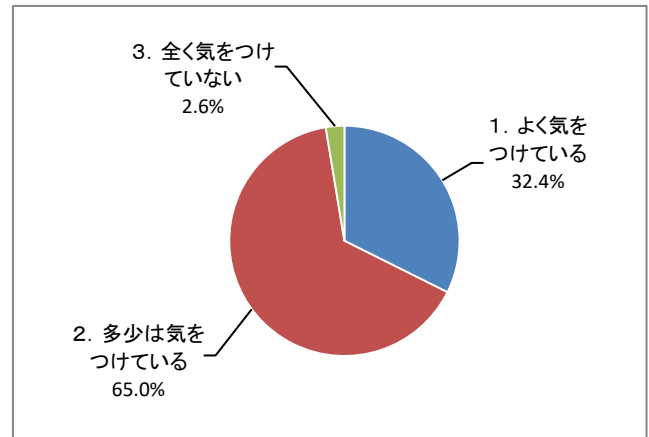
問5. 問4で「1. いつも不安を感じる」、「2. 時々不安を感じる」と回答された方にお尋ねします。あなたは、どのような種類の犯罪に遭うのではないかと不安を感じていますか。(回答チェックは3つまで n=254)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 殺人、強盗、傷害などの暴力的な犯罪	86	33.9
2. 空き巣、忍び込みなどの住宅侵入犯罪	186	73.2
3. すり、ひったくり	66	26.0
4. 自転車、バイク等の窃盗	70	27.6
5. 自動車の盗難、車上ねらい	98	38.6
6. 痴漢、強制わいせつ等の性的犯罪	36	14.2
7. 家庭等での暴力事件	9	3.5
8. 振り込め詐欺や還付金詐欺等の特殊詐欺	90	35.4
9. その他	11	4.3



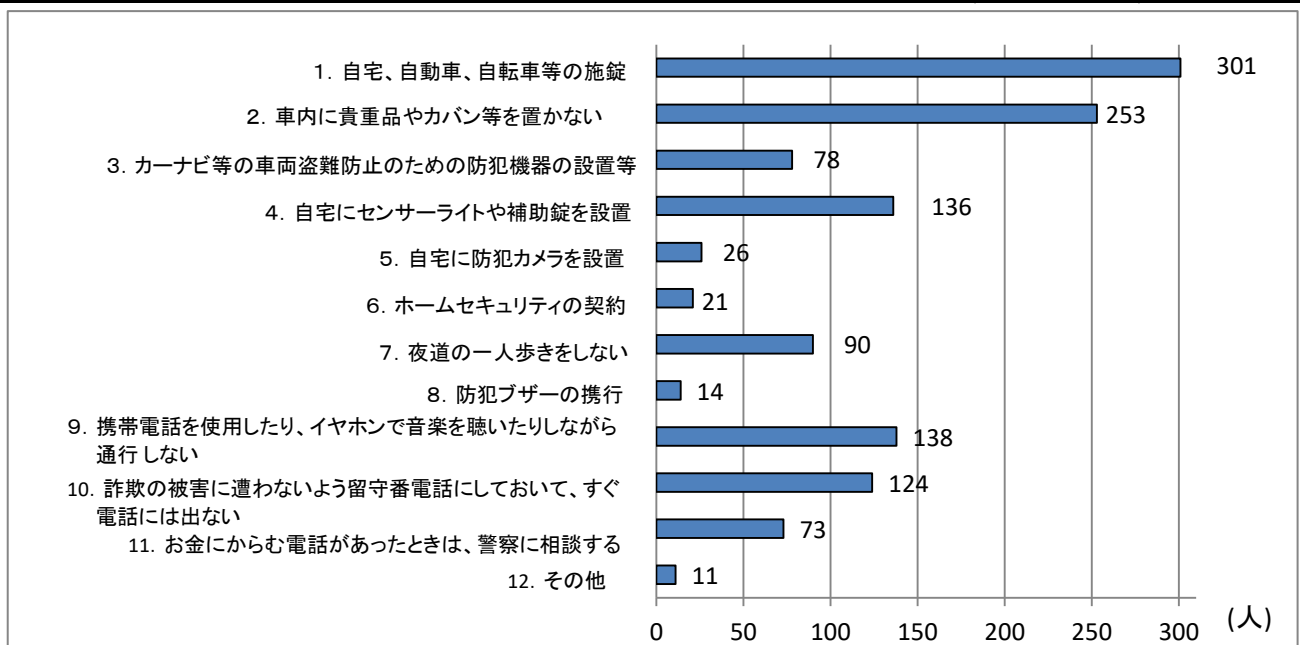
問6. 普段、あなたは家庭や身の回りで防犯に気をつけていますか。(回答チェックは1つだけ n=346)

項目	人数(人)	割合(%)
1. よく気をつけている	112	32.4
2. 多少は気をつけている	225	65.0
3. 全く気をつけていない	9	2.6
合計	346	100.0



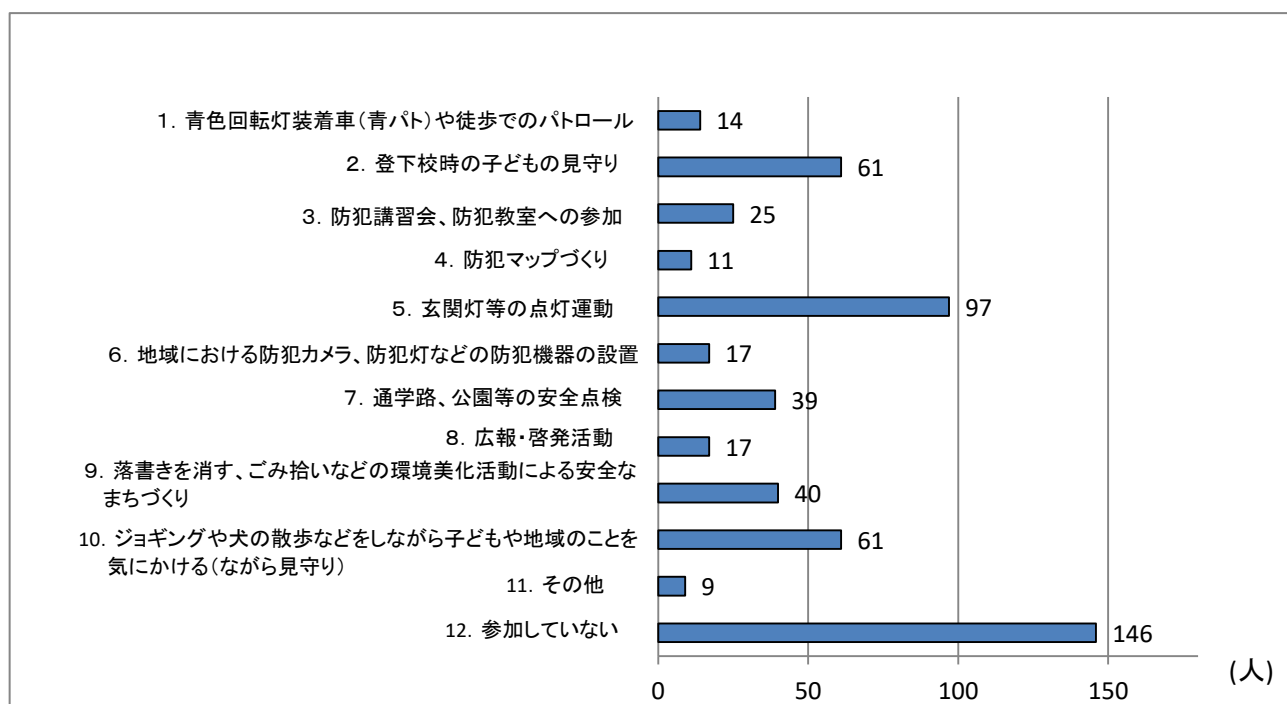
問7. 問6で「1. よく気をつけている」または「2. 多少は気をつけている」と回答された方にお聞きします。あなたが、日常生活で防犯に気をつけていることはどんなことですか。(回答チェックはいくつでも n=337)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 自宅、自動車、自転車等の施錠	301	89.3
2. 車内に貴重品やカバン等を置かない	253	75.1
3. カーナビ等の車両盗難防止のための防犯機器の設置等	78	23.1
4. 自宅にセンサーライトや補助錠を設置	136	40.4
5. 自宅に防犯カメラを設置	26	7.7
6. ホームセキュリティの契約	21	6.2
7. 夜道の一人歩きをしない	90	26.7
8. 防犯ブザーの携行	14	4.2
9. 携帯電話を使用したり、イヤホンで音楽を聴いたりしながら通行しない	138	40.9
10. 詐欺の被害に遭わないよう留守番電話にしておいて、すぐ電話には出ない	124	36.8
11. お金にからむ電話があったときは、警察に相談する	73	21.7
12. その他	11	3.3



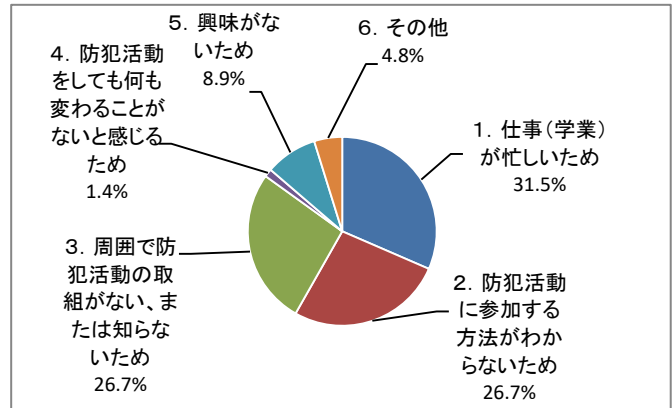
問8. あなたは、どのような防犯活動に参加したり取り組んだりしていますか。
 (回答チェックはいくつでも n=346)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 青色回転灯装着車(青パト)や徒歩でのパトロール	14	4.0
2. 登下校時の子どもの見守り	61	17.6
3. 防犯講習会、防犯教室への参加	25	7.2
4. 防犯マップづくり	11	3.2
5. 玄関灯等の点灯運動	97	28.0
6. 地域における防犯カメラ、防犯灯などの防犯機器の設置	17	4.9
7. 通学路、公園等の安全点検	39	11.3
8. 広報・啓発活動	17	4.9
9. 落書きを消す、ごみ拾いなどの環境美化活動による安全なまちづくり	40	11.6
10. ジョギングや犬の散歩などをしながら子どもや地域のことを気にかける(ながら見守り)	61	17.6
11. その他	9	2.6
12. 参加していない	146	42.2



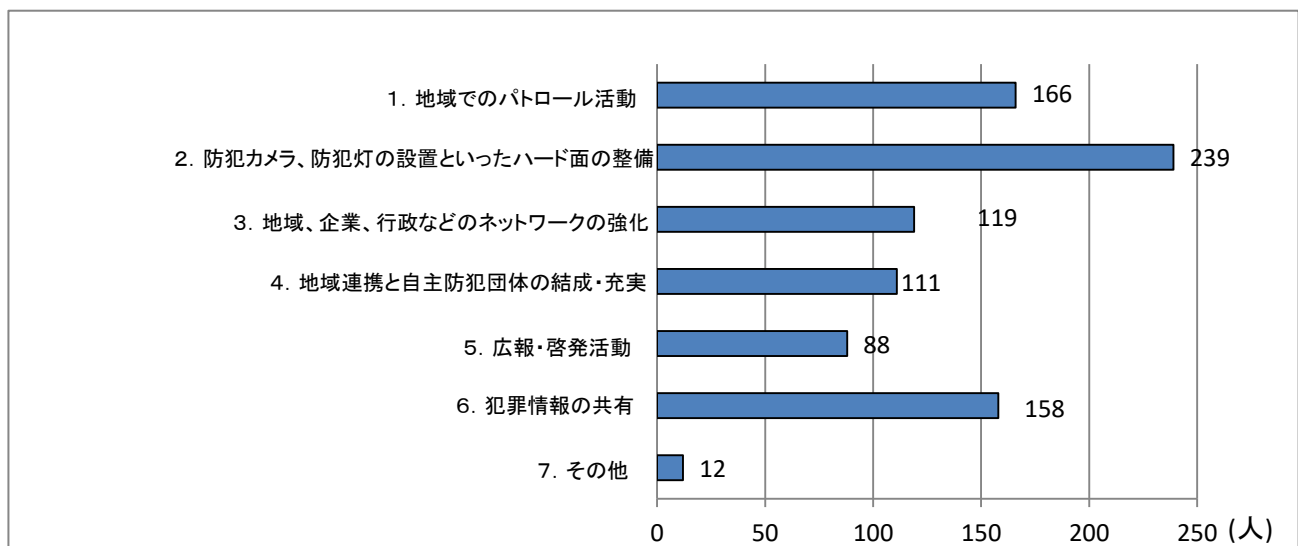
問9. 問8で「12. 参加していない」と回答された方にお尋ねします。あなたが防犯活動に参加していない理由は何ですか。(回答チェックは1つだけ n=146)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 仕事(学業)が忙しいため	46	31.5
2. 防犯活動に参加する方法がわからないため	39	26.7
3. 周囲で防犯活動の取組がない、または知らないため	39	26.7
4. 防犯活動をして何も変わらないと感じるため	2	1.4
5. 興味がないため	13	8.9
6. その他	7	4.8
合計	146	100.0



問10. 今後望まれる防犯対策の取組は、どのようなものですか。(回答チェックはいくつでも n=346)

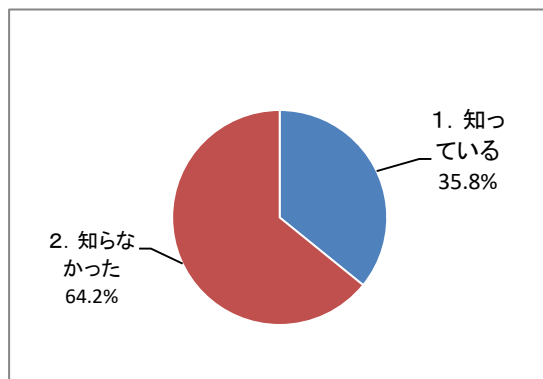
項目	人数(人)	割合(%)
1. 地域でのパトロール活動	166	48.0
2. 防犯カメラ、防犯灯の設置といったハード面の整備	239	69.1
3. 地域、企業、行政などのネットワークの強化	119	34.4
4. 地域連携と自主防犯団体の結成・充実	111	32.1
5. 広報・啓発活動	88	25.4
6. 犯罪情報の共有	158	45.7
7. その他	12	3.5



問11. 県民の皆さんが犯罪の被害に遭わないよう、県・市町・県民・事業者等が協働し、目に見える防犯啓発活動を街頭や大型店舗等において実施しているのを知っていますか。(回答チェックは1つだけ n=346)

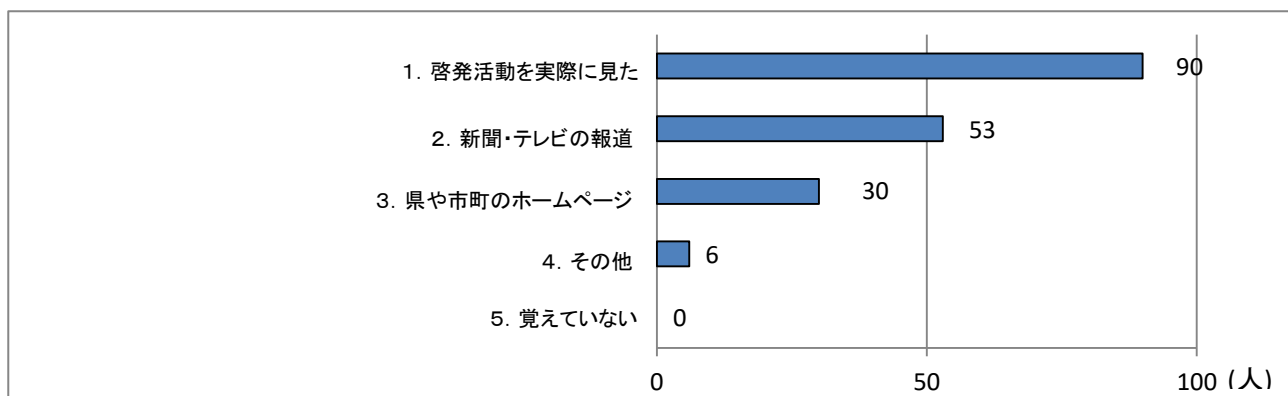
項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	124	35.8
2. 知らなかった	222	64.2
合計	346	100.0

※「知らなかった」には「このアンケートで初めて知った」を含む



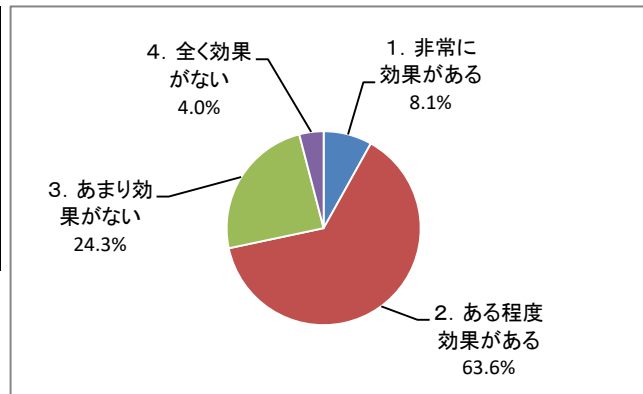
問12. 問11で「1. 知っている」と回答された方にお尋ねします。あなたは、防犯啓発活動を実施していることを何で知りましたか。(回答チェックはいくつでも n=124)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 啓発活動を実際に見た	90	72.6
2. 新聞・テレビの報道	53	42.7
3. 県や市町のホームページ	30	24.2
4. その他	6	4.8
5. 覚えていない	0	0.0



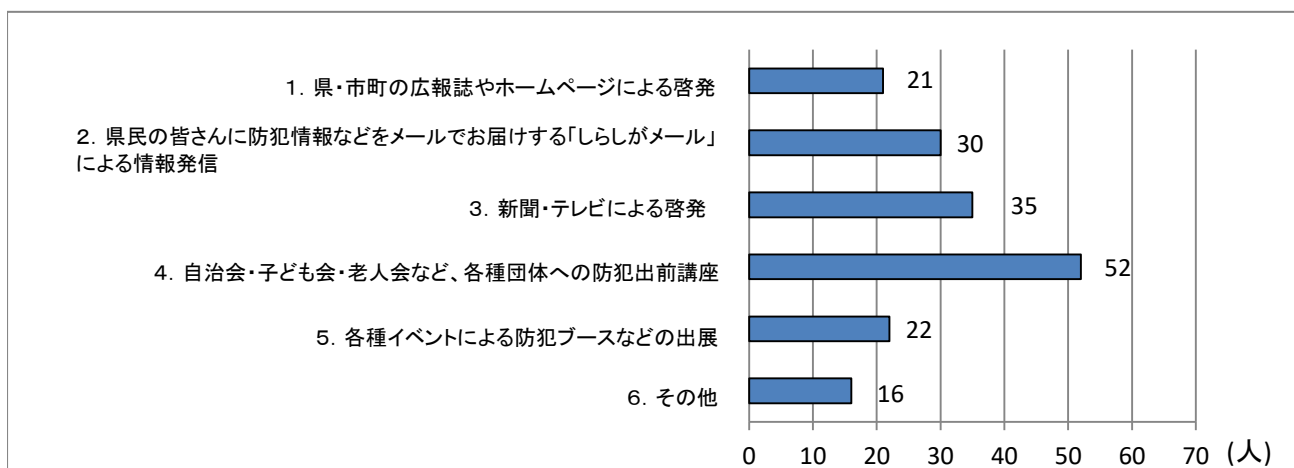
問13. 街頭や大型店舗等でのチラシ配布による啓発活動は、効果があると思いますか。(回答チェックは1つだけ n=346)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 非常に効果がある	28	8.1
2. ある程度効果がある	220	63.6
3. あまり効果がない	84	24.3
4. 全く効果がない	14	4.0
合計	346	100.0



問14. 問13で「3. あまり効果がない」、「4. 全く効果がない」と回答された方にお尋ねします。あなたは、どのような啓発であれば効果があると思いますか。(回答チェックはいくつでも n=98)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 県・市町の広報誌やホームページによる啓発	21	21.4
2. 県民の皆さんに防犯情報などをメールでお届けする「しらしがメール」による情報発信	30	30.6
3. 新聞・テレビによる啓発	35	35.7
4. 自治会・子ども会・老人会など、各種団体への防犯出前講座	52	53.1
5. 各種イベントによる防犯ブースなどの出展	22	22.4
6. その他	16	16.3



問15. 安全なまちづくりに関して、御意見等がありましたらお聞かせください。

◎特殊詐欺について

- ・特殊詐欺の金額にいつもビックリしている。いくら被害があったか、どんな被害だったかは意外と知られていないので、高齢者が見るテレビなどでもっと周知できたらいいのに、と思う。
- ・高齢者などに十分な情報を提供できるシステムの構築が必要。
- ・昔の名簿が出回っているらしく毎日詐欺や勧誘の電話がかかってくる。
- ・振り込み詐欺など、高齢者をターゲットにした犯罪は手口が巧妙化しているので、地域にも届くような啓発活動(町内会の回覧板でのチラシ回覧など)があるとよいと思う。

◎子ども・女性対象犯罪について

- ・スクールガードをやっている。大変なことも多く、責任も感じるが、子どもたちの元気な声を聞くと、こちらも励まされる。まずは「あいさつ」すること、「ありがとう」を言えることが大切だと思う。
- ・子どもたちだけの通学・下校時にボランティアで地域の方が立ってくださるのは安心です。
- ・最近の子どもは警戒心が強いのか、近所の大人へさえ挨拶をしない。閉じこもることで安全は確保できない。子どもたちには自分の生活する地域の人間にも興味を持つよう教えてほしい。

◎防犯カメラや防犯灯の設置等の環境整備について

- ・防犯カメラは犯罪の抑制や摘発に役立つと思うので、都心部だけでなく、住宅地にも増やしてほしい。また個人で設置する場合の補助金制度も作ってほしい。
- ・防犯カメラの充実をお願いしたい。常に見られているという抑止力にもなり、団地などに設置されると空き巣などの被害が減ると思う。また痴漢や連れ去りなどにも効果がでると思う。
- ・街灯が少ないのもっと設置してほしい。
- ・最近、LEDの街路灯に変わってきているが、眩しい割に明るくない。
- ・街路灯などの経費は自治体と各地区で負担しているが、住民の中には無料と思い込んでいる人がいる。街灯があるから自宅や通勤・通学等で「安心」を受けていること、それには経費が掛かっていることを知ってほしい。

◎自助・共助・自主防犯活動の取組について

- ・地域の意識が盛り上がるように自治体がバックアップする働きが不可欠だと思う。
- ・地域の間人関係の強化が必要なので、自治会加入率を上げる活動を自治会だけでなく自治体も協力してほしい。
- ・高齢者は犯罪に巻き込まれやすいと思われるが、自治会や民生委員等地域社会で守れるシステム作りができればと思う。

◎警察の取組について

- ・もっと警察の人員を豊富にして、微罪の減少・摘発を行ってほしい。
- ・警察が自動車の一時停止とか、喫煙不可場所での喫煙者への注意等ルール違反に対して頻繁に取り締まることで、この地域にはお巡りさんがちょくちょく来るのだなと認識されて防犯につながる。
- ・警察(パトカー)の巡回などを頻繁に行ってほしい。
- ・警察把握や住民通報がされなくなって来ている。以前より地域住民の防犯に対し他人事と捉えていると感じる。

◎県、市町等の行政の取組について

- ・警察、地域、学校、行政が情報共有し、連携し合うべきと思う
- ・安全なまちを作るには行政のリードは必要ですが、行政だけではフォローできないと思う。安全なまちづくりにはそのまちに住む住人の協力が必須であると思う。

◎広報啓発・情報発信について

- ・防犯情報が、県市から送信されているが、発生してからかなり時間がたっていたり、不審者や、犯人が捕まったのかの情報がなく、情報発信に不足があると感じる。
- ・メールで不審者情報がすぐ届くのは、助かっている。

◎防犯意識、安全なまちづくりについて

- ・防犯以外で安全なまちづくりのもう一つの大きな課題は、交通安全である。ガードレールなどのハード面の強化・新設を急ぐ一方、交通規則違反者の取り締まり徹底、日常化が不可欠である。
- ・人と人との関係も希薄になっており、お互いを思いやる心が無いように感じることもある。
そんな状況の中で私たちが安心して過ごすためにも様々な方法での安全なまちづくりのための対策や巡回など実施するシステムが必要だと考える。
- ・地域の自治会や町内会で、互いにもっと安全なまちづくりに興味を持ち実践するように積極的な活動をしてもらいたい。

◎その他

- ・犯罪が減っていた事に驚いた。凶悪化する事件が増えているので、犯罪が増えているものだと思い込んでいた。
- ・夜間にバイクが爆音を出して走っている。事故になる前の危険行為を取り締まってほしい。
- ・玄関灯をつけるようにしていたら、帰宅時に通る人から、お礼を言われたことがあり、自分も夜道が明るいとホッとするので、つけることにしている。
- ・ラジオCMで人が街を歩くだけでも自警につながるということに気づきました。